

1. 実施方法

厚生労働省より示された「看護師など養成所の自己点検・自己評価指針」に基づき評価を行っています。評価はⅠ～Ⅸの9領域、67項目、125問からなる。「よく当てはまる」3点、「大体当てはまる」2点、「当てはまらない」1点として評価している。

2. 実施結果

表1 各領域別平均点

領域		点数
Ⅰ	教育理念・教育目的	2.49
Ⅱ	教育目標	2.44
Ⅲ	教育課程経営	2.31
Ⅳ	教授・学習・評価過程	2.34
Ⅴ	経営・管理過程	2.24
Ⅵ	入学	2.22
Ⅶ	卒業・就業・進学	2.26
Ⅷ	地域社会／国際交流	2.16
Ⅸ	研究	1.96

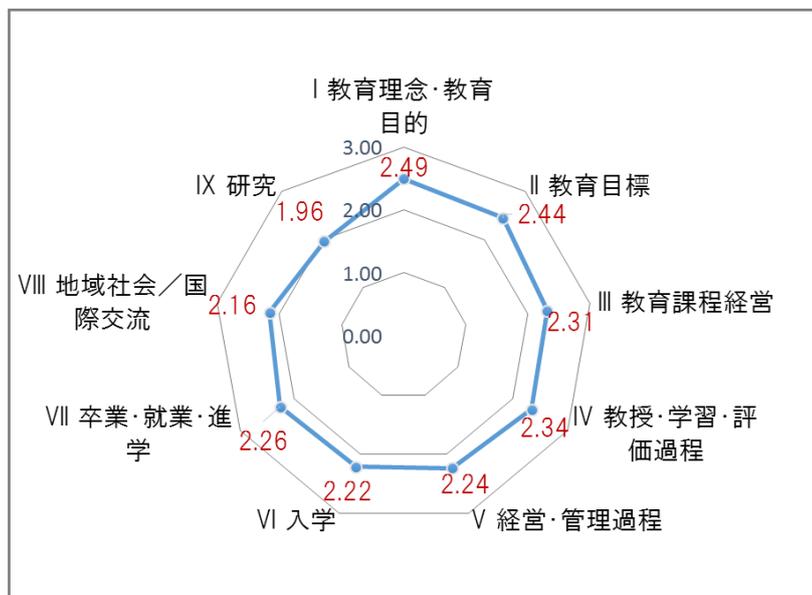


図1 領域別自己点検・自己評価結果

I. 教育理念・教育目的

教育理念・目的、学校の特色などは、教育計画、学生便覧、ホームページや学校案内パンフレットに明記している。高校生対象の進学説明会や毎年開催するオープンキャンパス、個人で学校見学を希望する来校者に詳細な説明を行い看護教育への理解を深めてもらっている。

II. 教育目標

教育理念・教育目的をもとに教育目標を設定している。学年ごとに教育目標を設定し、その目標に近づけるように各学生が目標を挙げ、学年ごとに評価できるようにしている。

III. 教育課程経営

教育理念に基づき、目的・目標のもと、科目・単元を構成し、年間の教育計画を立てている。学生には、学生便覧だけでなく、シラバスを提示し、単位履修方法について、学生・教員双方に理解できるようにしている。

教員が専門性を発揮できるように、経験に応じた担当科目を決定し、授業準備ができるよう時間配分を行い、体制を整えている。また、臨地実習においては、臨地実習指導者との連携を十分にとることで学習効果をあげ、学生に対する安全教育、安全対策も行っている。

#### IV. 教授・学習・評価過程

「科学的看護を実践できる看護師」を育成するために、看護過程を含む基礎看護技術においては教員間で共通認識を持ち教授している。学生支援の動機付けを意識し取り組み、臨地実習の評価はルーブリック評価を用い、学生・実習指導者・教員間での共通理解ができ、学生にフィードバックできるようにしている。

#### V. 経営・管理過程

設置主体は周防大島町である。学校の運営組織は図式化されており、教育目的に沿った運営方針、年間予算案・事業計画が策定され進捗管理は、運営会議にて行っている。学校運営全体に関しては業務分担表にて役割を明記している。

#### VI. 入学

入学希望者に当校の教育理念や方針が分かるようにホームページ、スクールガイド、募集要項等に明記している。また、入学者選抜の方法についても、指定校推薦入試、社会人入試・推薦入試・一般入試等、幅広く受け入れをしているが、少子化・大学進学化傾向にて入学生の確保が徐々に難しくなっている。

#### VII. 卒業・就業・進学

卒業前にはケーススタディ発表会を行い、学生自身の看護観を深め、進学・就職に向けての動機付けを行っている。看護師国家試験に向けての対策を強化しており、過去8年間の国家試験の合格率はほぼ100%を占めている。就職希望者の就職率は100%である。

#### VIII. 地域社会／国際交流

学校祭は地域に開放し、プログラムにも参加していただいている。また学校周辺地域の火災訓練への参加やボランティアにも積極的に参加している。その他にも地域行事にも参加し、地域社会に貢献していると考ええる。

周防大島町はハワイ州のカウアイ島と姉妹島であることに由来し、ハワイ研修旅行にて施設見学を行っている。

#### IX. 研究

教員として研究の必要性は理解している。周防大島町病院事業局内に倫理委員会を設置しており、研究に対する環境は整っている。研究に取り組み学会発表の経験がある教員は研究に対する意欲が高い。経験がない教員への動機付けとして学会への参加や、共同研究として参加することなど各教員が研究活動に取り組めるように意識付けることが課題である。